

I. 工事概要

1 工事場所 富山県 下新川郡 朝日町 越 地内

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表 第一	耐震安全性の分類	備考
第1体育館	RC	3	4,876.10㎡	1項イ		耐火構造
第2体育館	RC	3	1,668.42㎡	1 5項		準耐火構造

II. 工事仕様

- 1 共通仕様
 - 電気設備工事
 - 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁審議部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」及び「公共建築設備工事標準準則(電気設備工事編)令和4年版」による。
 - 建築工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの仕様書を用いる。
 - 機械設備工事
 - 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁審議部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」及び「公共建築設備工事標準準則(機械設備工事編)令和4年版」による。
 - 建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの仕様書を用いる。
- 2. 特記仕様
 - ① 意及び項目は番号に○印の付いたものを適用する。
 - ② 特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
① 一般共通事項1	一般共通事項の適用 ・ 本仕様書の一般共通事項1を適用する。 ・ 建築特記仕様書の一般共通事項1を適用する。

- ① 工事実績情報の登録
- ② 下請関係の適正化
- ③ 請負代金内訳書の提出
- ④ 個人情報取扱いについて
- ⑤ 環境への配慮

- ⑥ 材料・機材の品質等
 - 適用する。
本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。
※受注者は、請負代金内訳書を作成し、工事請負締結後7日以内に発注者に提出すること。
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-147個人情報の取扱い特記事項による。
 - 1 使用する機材等に「富山県グリーン購入選定方針」で定められている場合には、それに適合するものとする。
 - 2 建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。
 - (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保土剤、接着材、接着材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は含有量が極めて少ない材料で、「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
 - (2) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
 - (3) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性可塑性を除く)が追加されていない材料を使用する。
 - (4) (1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しないか、含有量が極めて少ない材料を使用したものとする。

- 1 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
- 2 下記に示す材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明と承認書料又は外部機関が発行する品質及び性能が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
 - (1) 品質及び性能に関する試験データを整理していること。
 - (2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
 - (3) 安定的な供給が可能であること。
 - (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
 - (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
 - (6) 販売、保守等の営業体制を整えていること。

- 3 使用する機材が、国土交通省大臣官庁官庁審議部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は、標準仕様書第1編1.4.2の品質及び性能を有することを証明できる資料の提出を省略することができる。

- ⑦ 地産産品の優先使用等
 - 1 地産産品の優先使用
受注者は、工事に使用する資材等について、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内産地産品(建設資材又は製品等)を、県内で最終製造工程が施されたもの又は県内に本社・本店を置く取扱業者から調達したものをいう)を優先使用するものとする。
 - 2 県内及び町内企業の優先受注等
受注者は、工事に係る資材納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は富山県内に本社・本店を置くものの中から選定するよう努めなければならない。
また、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方は朝日町内に本社(本店)、支店又は営業所を置くものの中から選定するよう努めなければならない。
発生材は構外搬出処分とし、その費用も発注者自らの責任において適正に処理するものとする。
※諸設備切作作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理する。
・ 建設リサイクル法対象工事(契約額1億円以上(税込))
・ 再資源利用計画書の作成及び提出

- ⑧ 発生材の処理等
 - 運搬、処分委託契約の締結及び許可証の提出
○ マニフェスト管理一貫表の提出
電気保安技術者を工事現場に ・ おく ・ おかない
 - 設けない ・ 設ける
本工事に必要な工用電力、水、燃料及び種手続き等の費用は受注者の負担とする。
構内につくることが ○ できる ・ できない
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-133環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。

- ⑨ 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間とする取扱い
次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認められた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。
 - (1) 契約締結後、現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - (2) 工事の全体の施工を一時中止している期間
 - (3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業が行われていない期間

- ⑩ 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間とする取扱い
次のいずれかに該当し、かつ、その期間が書面により明確となっている場合には、専任を要しない期間とする。
 - (1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間
 - (2) 自然災害の発生又は悪化対策協議等により、工事を全面的に一時中止している期間
 - (3) 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間
 - (4) (1)又は(2)に該当し、かつ、発注者が不確実である期間
 - (5) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

- ⑪ 電気保安技術者
- ⑫ 監督職務専任
- ⑬ 工事用電力・水その他
- ⑭ 工事用仮設物
- ⑮ 施工機械

- ⑯ 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間とする取扱い
次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認められた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。
 - (1) 契約締結後、現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - (2) 工事の全体の施工を一時中止している期間
 - (3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業が行われていない期間

- ⑰ 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間とする取扱い
次のいずれかに該当し、かつ、その期間が書面により明確となっている場合には、専任を要しない期間とする。
 - (1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間
 - (2) 自然災害の発生又は悪化対策協議等により、工事を全面的に一時中止している期間
 - (3) 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間
 - (4) (1)又は(2)に該当し、かつ、発注者が不確実である期間
 - (5) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

- ⑱ 安全教育・訓練の実施
労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を行い、月当たり4時間以上の頻度で実施するものとする。(「富山県土木工事共通仕様書」1-1-129 工事の安全確保)

- ⑲ 調査・試験に対する協力
公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。(「富山県土木工事共通仕様書」1-1-113)

- ⑳ 工事特性・創意工夫・社会性の実施
受注者は、工事施工において、施工条件への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成までに「富山県請負工事成績評定要領」第4項7)項に定める様式により提出することができる。
受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には、速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。

- ㉑ 暴力団関係者から不当な介入を受けた場合の措置
1 工事に係る入札の結果、調査基準価格を満たさない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれに定めることによる。
 - (1) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合
専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事については監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事については主任技術者により得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。
 - (2) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられていない工事の場合
同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。

- 2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。
- 3 工事の品質を確保するため、特記仕様書に示される施工に関する試験基準を2倍の頻度をもって実施し、品質管理を行うものとする。
本工事は、富山県が先行発注した下の工事(以下、「取組工事」という。)と当該追加工事の設計金額の合計額より定まる率によって算定した諸経費から、取組工事にかかる諸経費等を控除した額で調整した金額とする。

- 21 間接工事費等の調整について
工事番号: _____ 工事名: _____

- 22 総合評価方式
1 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料(技術提案書又は簡易な施工計画)の内容を履行すること。
2 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。
3 なお、上記1.2を履行できない場合及び、受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に適合の報告があった場合においては、富山県公共工事総合評価方式実施要領に基づき工事成績の減点(標準値においては、工事成績の減点及び適格性の徴収)をすることがある。
・ 本工事は「登録幹事技術者の配置」を活用した試行工事であり、受注者は、下記工程において登録幹事技術者を配置する場合は、あらかじめ施工計画書により、登録業者情報や配置予定期間、作業内訳等を発注者に報告することとし、配置予定期間及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、履行が確認できない場合、富山県公共工事総合評価方式実施要領に基づき工事成績の減点をすることがある。

- 対象工程 ・ ○○工 ・ □□工 ・ △△工
この工事は「下請負契約における県内企業の活用」を評価の対象とした試行工事である。施工時及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、受注者により発注者に係る理由により、入札時の申請に反して、施工時に県内企業の活用ができなかった場合には、工事成績評定点を2点減点する。
本工事は、建設現場をより働きやすい環境に改善するため、受注者が希望すれば、快適に使用できる仮設トイレ(洋式トイレ・快活トイレ)を設置することができる工事である。
快適な仮設トイレの設置工事の実施にあたっては、「快適な仮設トイレの設置工事」についてのお知らせによるものとする。このお知らせは、下記富山県のホームページから入手できる。
(https://www.prof.toyama.jp/1510/sangyou/nyusaitou/koukyoukouji/kj00017588.html)
仮設2日制モデル工事の実施にあたっては、「仮設2日制モデル工事(登録工事) 試行要領」(令和4年7月富山県土木部)に基づきものとする。この試行要領は、富山県土木部管轄課のホームページから入手できる。
(https://www.prof.toyama.jp/1508/kendokoushi/toshikeiki/kaku/kenchiu/kj/00021742.html)

- 23 快適な仮設トイレの設置工事
1 本工事は、仮設現場をより働きやすい環境に改善するため、受注者が希望すれば、快適に使用できる仮設トイレ(洋式トイレ・快活トイレ)を設置することができる工事である。
快適な仮設トイレの設置工事の実施にあたっては、「快適な仮設トイレの設置工事」についてのお知らせによるものとする。このお知らせは、下記富山県のホームページから入手できる。
(https://www.prof.toyama.jp/1510/sangyou/nyusaitou/koukyoukouji/kj00017588.html)
仮設2日制モデル工事の実施にあたっては、「仮設2日制モデル工事(登録工事) 試行要領」(令和4年7月富山県土木部)に基づきものとする。この試行要領は、富山県土木部管轄課のホームページから入手できる。
(https://www.prof.toyama.jp/1508/kendokoushi/toshikeiki/kaku/kenchiu/kj/00021742.html)

- 24 仮設2日制モデル工事
1 本工事は、仮設現場をより働きやすい環境に改善するため、受注者が希望すれば、快適に使用できる仮設トイレ(洋式トイレ・快活トイレ)を設置することができる工事である。
快適な仮設トイレの設置工事の実施にあたっては、「快適な仮設トイレの設置工事」についてのお知らせによるものとする。このお知らせは、下記富山県のホームページから入手できる。
(https://www.prof.toyama.jp/1510/sangyou/nyusaitou/koukyoukouji/kj00017588.html)
仮設2日制モデル工事の実施にあたっては、「仮設2日制モデル工事(登録工事) 試行要領」(令和4年7月富山県土木部)に基づきものとする。この試行要領は、富山県土木部管轄課のホームページから入手できる。
(https://www.prof.toyama.jp/1508/kendokoushi/toshikeiki/kaku/kenchiu/kj/00021742.html)

- 25 余裕期間制度
1 本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の始期及び終期を設定することができる工事であり、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度(ワリツ方式) 試行要領に基づき実施するものとする。
2 工事の始期は、契約締結日の翌日から○年○月○日まで、工事の終期は、○年○月○日までとする。
3 受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。
4 受注者は、受注時のワリツ(COIRINS)への登録については、工事の始期後10日(休日を除く。)以内に登録するものとする。
5 受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものとする。
6 余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要現地への立入り(工事着手以外の行為とする)については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。

- 7 その他の特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度(ワリツ方式) 実施要領によるものとする。
・ 発注者指定方式対象工事
1 本工事は、出水期や越冬期などにより工事期間や工事の始期が限定されるという施工条件のもとで、円滑な工事施工体制の確保し、発注業者の計画的な履行と円滑化を図るため、全体工期内で発注者が余裕期間と完工期を指定する富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度(発注者指定方式) 試行要領に基づき実施するものとする。

- 2 工事の始期は、○年○月○日とする。
- 3 受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。
- 4 受注者は、受注時のワリツ(COIRINS)への登録については、工事の始期後10日(休日を除く。)以内に登録するものとする。
- 5 受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものとする。
- 6 余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要現地への立入り(工事着手以外の行為とする)については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。

- 7 低入札価格調査等により、発注者が指定する工事の始期以降に契約を締結することとなった場合には、余裕期間を適用しないものとする。
- 8 その他の特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度(発注者指定方式) 実施要領によるものとする。

- 26 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置
※ 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書きの適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という。)の配置を行う場合は、以下の(1)から(9)の要件を満たさなければならない。
 - (1) 建設業法第26条第3項ただし書きによる監理技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。
 - (2) 監理技術者補佐は、1級建築施工管理士補佐及び1級建築施工管理士等の国家資格者、学歴や業務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定科目は、特例監理技術者に求める技術検定科目と同じであること。
 - (3) 監理技術者補佐は、受注者と直接かつ恒常的な雇用関係にあること。
 - (4) 同一の特例監理技術者を配置できる工事は、同時に2件までとする。ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれ工事の対象となる工作物等に一体的に認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随時契約により締結される場合に限る。)については、これら複数の工事を一つの工事とみなす。
 - (5) 業務する工事が特例監理技術者としての職務を適正に遂行できる範囲内にあること。なお、範囲内については、工事現場が同一の土木センター、事務所内にあること。
 - (6) 特例監理技術者が業務できる工事は、24時間体制での応急処理工や緊急巡回等が必要な工事以外の工事であなければならない。
 - (7) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
 - (8) 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
 - (9) 監理技術者補佐が担う業務について、明かになること。

- ※ 本工事の監理技術者が特例監理技術者として業務することとなる場合、上記(1)から(9)の事項について、確認できる書類を提出すること。
- ※ 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコリンズ(COIRINS)への登録を行うこと。

- 着工時 ○ 原図版 1部 ○ 縮小版 6部
- 写真種別 撮影箇所数 提出規格 紙張寸法 構成 備考
- 着工前写真 適正数 1版程度 P D F ※着工前と完成写真を対比したものを 300方面画にて撮影
- 完成写真 適正数 (3枚/頁) ・完成写真のみ(新築の場合) 300方面画にて撮影
- 施工中写真 適正数 ― JPEF

- 主要な機材については、発注前に納入仕様書等を提出し、監督職員の確認を受けなければならない。
監督職員の指示する書類。
 - 完成図(設計図及び施工図を原義紙に製本したもの) ○ 原図版 1部 ○ 縮小版 2部
 - 完成図(CADデータ) (D-R 1枚×2部)
 - 安全に関する資料
 - 電子納品対象工事(以下に記す書類を電子納品する。)
 - 工事写真 ・ 施工計画書 ○ 完成図(CADデータ) ・ 参考図(ラスタデータ)

- 29 建設現場の遠隔監視に関する試行要領
本工事は、受発注者の移動時間の削減のため、「建設現場の遠隔監視に関する試行要領(令和5年4月富山県土木部)」の内容を参考に、実施することとする。

- ① 提出図書等
 - (1) 設計図の製本
 - (2) 工事写真

- ② 電子納品
 - 29 建設現場の遠隔監視に関する試行要領
本工事は、受発注者の移動時間の削減のため、「建設現場の遠隔監視に関する試行要領(令和5年4月富山県土木部)」の内容を参考に、実施することとする。

- ③ 適用基準等
 - 国土交通大臣官庁官庁審議部「登録工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版」
 - 国土交通大臣官庁官庁審議部「登録工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編 平成30年版」
 - 富山県電気用品運用ガイドライン(案)【建築工事編】(令和5年6月)

- ④ 施工条件
 - 3 技術士の申請

- ⑤ 仮設設備
 - 6 認定リサイクル製品の使用

工種	品目	規格

- 7 建築工事との取合
 - (1) 開口部補修
 - (2) 機器の基礎
 - ⑥ 足場、さん積

- 9 建築物又は工作物の解体等の作業
 - 10 土工事
 - (1) 残土処理

- 11 地中埋設工事
 - (2) 埋め戻し及び盛土
 - (3) 地業工事

- 12 地中埋設等
 - 13 埋設物の防食処理
 - 14 ビニール管の布設
 - 15 マンホール蓋
 - 16 配管

- 17 コンクリート工事
 - (1) 普通コンクリート

打設日	3/10~7/13	7/14~9/2	9/3~11/10	11/20~3/9
補正値	3 N/mm2	6 N/mm2	3 N/mm2	6 N/mm2

- (2) 鉄筋
 - ・ レディミクストコンクリート(Ⅰ種 ・ Ⅱ種) ・ 現場練りコンクリート
 - コンクリート設計基準強度(Ⅰ 18N/mm2-15-25(括弧中) ・ 21N/mm2-15-25 ・ 24N/mm2-15-25)
 - 構造体コンクリートの強度補正係数
 - コンクリート強度試験(実施する ・ 省略する)
 - ・ 異形鉄筋(Ⅰ SD295A ・ SD345)

- ⑰ 耐震安全性の分類と耐震施工
設備機器の固定は、施設の種類に並びに機器の種類、重要度及び設置環境に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力並びに、移動、転倒、破壊等が生じないようにする。

- 1) 設計用水平地震力
機器の重量[kw]に、設計用水平地震度を乗じたものとする。なお特記なき場合、設計用水平地震度は次による。水櫃類は満水時の液体重量を含む総重量とする。
設計用水平地震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水櫃類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水櫃類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水櫃類	1.5	1.0	1.0	0.6

- 重要機器 ・ 配電盤 ・ 受変電設備 ・ 発電設備(電気設備) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機
- ・ 火災報知受検器 ・ 中央監視装置
- 重要機器 ・ 水櫃類(・)
- ・ 消火設備(・)
- 重要機器 ・ ボイラー ・ 冷凍機 ・ 冷温水機 ・ 冷却塔(空調設備) ・ 中央監視装置 ・ 空気調和機(・ 22)形 ・ 22)形 ・ 22)形 ・ 22)形) ・ 水櫃類(・) ・ 排煙設備機器

- 注1) 上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4層とする。
注2) 水櫃類にはオイルタンク等を含むものとする。
- 2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
- 3) 又と施設アンカー
- 施工仕様試験 ・ 要(引張試験機による引張試験) ・ 不要
- ※機器搬入にかかるとはならない試験を実施する。

- 19 運転操作説明表
- 20 総合調整
 - 調整項目(測定箇所等は監督職員の指示による。)(給排水衛生設備) ・ 水量調節 ・ 騒音の測定 ・ 飲料水の硬度の測定

- 21 容量等の表示
 - 1 機器の能力、容量等(電動機出力を除く)は原則として表示された数値以上とする。
 - 2 電動機の出力は原則として表示された出力以下の容量とする。
 - 1 材料・施工順序及び厚さは特記がなければ標準仕様書第2編第3章の表2.3.1~2.3.7による。なお、保温材は原則としてグラスウール保温材を使用するものとし、温水・蒸気・給湯以外の地域内(ビッド内を含む)及び屋外多湿箇所はポリスチレンフォーム保温材を使用するものとする。また、排煙ダクト及び排煙口はロックウール保温材を使用するものとする。
 - 2 合成樹脂製カバー(・ シートタイプ ・ ジャケットタイプ) ・ 再生使用することとする。
 - 3 井水等の保護品については井水等の保護品とするものとする。
 - 7 給水、井水用の配管で呼び径65以上の弁、ストレーナー等は、ビス等により容易に着脱できる金具製の給水栓、井水用の配管で呼び径65以上の弁、ストレーナー等は、ビス等により容易に着脱できる(・ ステンレス鋼板 ・)とする。

- 24 塗装及び防錆工事
 - 1 適用の基準は以下の通りとする。
 - ・ 機械設備: 標準仕様書第2編第3章第2節による。
 - ・ 電気設備: 標準仕様書第1編第2章第2節による。
 - 2 屋外及び多湿箇所の支持架台等は消磁薬品めっき鋼材(φD235以上)またはステンレス鋼材を使用する。
 - 3 次の箇所の保温しない配管及びダクトは塗装不要とする(ただし、SGP-風管及びTSP070-風管は除く。)
・ 機械設備: 標準仕様書第2編第3章第2節による。

- ⑥ はつり
 - ⑩ 既存コンクリート床及び壁の配管用通道の穴穴は、ダイヤモンドカッターによる。
 - 事前に走査式建物調査を行い、監督職員に報告を行う。
 - ・ 結露(一般床、壁) ・ 鋼製(梁、水密を要する地中等) ・ 塩ビ(水密を要しない地中等)
 - 1 各種配管の試験は、新設配管に試験を行う。
 - 2 新設配管は、既設配管との接続部に試験を行う。

- 28 電気工事
 - 1 機器付属の制御盤及び操作盤降電の電気設備、配線は(・ 本工事 ・ 別途工事)とする。
 - 2 制御盤及び操作盤に付属する機器の接地は(・ 本工事 ・ 別途工事)とする。(・ 地中、構内、ビッド内 ・)の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼(SUS304)とする。

- ⑪ 撤去内容
 - 2 アスベスト含有調査等

- 3 冷媒(フロン類)の回収
 - 1 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、平成19年10月1日改正の「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」による。ただし、冷媒の回収等の費用は(・ 本工事 ・ 別途)とする。
 - 2 冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出する。
 - (ア) 第一種フロン類回収業者登録通知書の写し
 - (イ) フロン類回収証明書
 - (ウ) 特定家庭用機器廃棄物管理表(家電リサイクル券)の写し(家庭用エアコンの場合)
 - ・ 引渡しを要するもの(・ 廃棄する ・)
 - ・ 特別管理産業廃棄物(・)
 - ・ 同上の処理方法(・)
 - ・ 再資源化を図るもの(・)

<p>・電気設備 工事種目 (○印をつけたものを適用する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電灯設備 <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 雷保護設備 受変電設備 電力貯蔵設備 <ul style="list-style-type: none"> 構内交換設備 情報通信網設備 映像音響設備 <ul style="list-style-type: none"> 拡声設備 誘導支援設備 テレビ共同受信設備 監視カメラ設備 <ul style="list-style-type: none"> 防犯・入退室管理設備 火災報知設備 構内配電・通信線路 	<p>・給排水衛生設備 工事種目 (○印をつけたものを適用する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生器具設備 給水設備 排水設備 給湯設備 消火設備 消火器設備 厨房設備 ガス設備 さく井設備 融雪設備 浄化槽設備 	<p>・空調設備 工事種目 (○印をつけたものを適用する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調調和機設備 空調ダクト設備 ボイラー及び付属機器設備 冷熱機設備 換気設備 換気ダクト設備 排煙設備 排煙ダクト設備 自動制御設備 																																																																																																																																																													
<p>① 呼び線及び予備配管 長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を入線する。埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本、5個の場合(25)を2本、天井まで立上げる。</p> <p>② 電線本数、管路等ケーブルの種類 分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線は、経路、電線太さ、電線本数及び管径等は監督職員との承認を受けて変更しても差し支えない。</p> <p>③ 金属製の塗装仕上げ また、機械室等の床配線は図面上P管で記載している場合であっても、立上り部分の露出配管部分は金属製とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。</p> <p>④ 再使用機器 次の箇所の露出配管は塗装を行う。 ○ 屋外 () ○ 屋内 () ○ 塗装を行わない厚鋼電線管は、溶融亜鉛めっき仕上げ付着量300g/m²以上のものとする。</p> <p>⑤ 保溫、結露防止 取外し再使用機器は清掃、絶縁測定の上で受け付ける。 外気に面する壁・天井、内断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。</p> <p>⑥ 高圧交流遮断器 操作方式 (・ 電気操作方式 ・ 手動ね操作方式) 適用範囲 (・ 受変電設備 ・ 発電設備)</p> <p>⑦ 消火器 ・ ABC粉末消火器 号 本 ・ 消火器収納箱 本入 個 (・ 鋼板製 ・ SUS製) ・ 表示板 (・ 鋼板製 ・ SUS製 ・ アルミ製) ・ 内蔵電話機1台につき、EM-TIEFG. 65-2Cを2台を見込む。</p> <p>⑧ 電話機への配線 ・ ボタン電話機1台につき、電子ボタン電話用ケーブルEM-BT0. 4-4Cを2台を見込む。</p> <p>⑨ 火災報知設備用総合盤 ・ 消火栓箱(別途)に給込 ・ 専用 ガス種類 ・ 都市ガス ・ LPガス 監視方式 ・ 個別式 ・ 集中監視式 ・ 受信機 (型 級 回路) ・ 火報器と一体 ・ 単独 ・ 標準品による (蓋は富山県準入りとする)</p> <p>⑩ ハンドホール ⑪ 地中埋設等 (1) 地中埋設 要 (図示による) ・ 不要 (2) 埋設表示テープ ○ 要 ・ 不要</p> <p>⑫ 取付高さ 壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。</p> <table border="1" data-bbox="296 661 771 1396"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>取 点</th> <th>取付高[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>フック等 (一般)</td><td>床上一中心</td><td>2.100</td></tr> <tr><td># (調機)</td><td>#</td><td>2.600</td></tr> <tr><td># (備上)</td><td>備上→中心</td><td>150</td></tr> <tr><td>スイッチ (一般)</td><td>床上一中心</td><td>1.200</td></tr> <tr><td># (多機能使用)</td><td>#</td><td>1.200</td></tr> <tr><td>ソケット (電話用)</td><td>#</td><td>400</td></tr> <tr><td># (和室)</td><td>#</td><td>150</td></tr> <tr><td># (和室)</td><td>倉上→中心</td><td>150</td></tr> <tr><td>ソケット (土間)</td><td>床上一中心</td><td>800~1.200</td></tr> <tr><td>引込開閉器 (定圧)</td><td>床上一上端</td><td>1.500</td></tr> <tr><td>分電盤 (制御盤、実験盤)</td><td>床上一中心</td><td>1.500(上段) 900(下)</td></tr> <tr><td>開閉器</td><td>#</td><td>1.500</td></tr> <tr><td>電磁開閉器用押しボタン</td><td>床上一中心</td><td>1.200</td></tr> <tr><td>操作用端子箱</td><td>地上→床上一中心</td><td>500</td></tr> <tr><td>試験用接続端子箱</td><td>床上一上端</td><td>800</td></tr> <tr><td>接地線接続器</td><td>地上→中心</td><td>600</td></tr> <tr><td>給湯ボックス</td><td>地上→給湯口</td><td>1.000</td></tr> <tr><td>室内端子箱 (扉下・室内)</td><td>床上一上端</td><td>300</td></tr> <tr><td>中間継子箱 (PS・電気室)</td><td>床上一中心</td><td>1.500</td></tr> <tr><td>壁付電話機</td><td>#</td><td>1.200</td></tr> <tr><td>時計計</td><td>#</td><td>1.500(上段) 900(下)</td></tr> <tr><td>子時計、スピーカ</td><td>天井下→上端</td><td>100</td></tr> <tr><td>アタッチータ</td><td>床上一中心</td><td>1.200</td></tr> <tr><td>表示盤</td><td>天井下→上端</td><td>100</td></tr> <tr><td>発信器 (出退室用)</td><td>床上一中心</td><td>1.200</td></tr> <tr><td>外部受信用インターホン (子機)</td><td>#</td><td>標準品による</td></tr> <tr><td>壁付インターホン (上記以外)</td><td>#</td><td>1.100</td></tr> <tr><td>呼出ボタン (多機能使用)</td><td>#</td><td>900(400)</td></tr> <tr><td>電燈ボタン (#)</td><td>#</td><td>1.300</td></tr> <tr><td>床下表示灯 (#)</td><td>#</td><td>2.000</td></tr> <tr><td>テレビ機用取付部</td><td>天井下→上端</td><td>200</td></tr> <tr><td>火報受信機 (備倉庫)</td><td>床上一上端</td><td>800~1.500</td></tr> <tr><td>別室受信機</td><td>床上一中心</td><td>1.500</td></tr> <tr><td>自動通報機受信器</td><td>#</td><td>800~1.500</td></tr> <tr><td>発信機</td><td>#</td><td>800~1.500</td></tr> <tr><td>警報ベル</td><td>#</td><td>(天井高) × 0.9</td></tr> <tr><td>表示灯</td><td>#</td><td>"(天井高) × 0.8</td></tr> <tr><td>遠動制御器 (自動開閉)</td><td>#</td><td>1.500</td></tr> <tr><td>ガス漏れ検知器 (ガス)</td><td>#</td><td>300</td></tr> <tr><td># (種ガス)</td><td>天井→中心</td><td>(天井高) - 200</td></tr> </tbody> </table> <p>(備考) 天井面を基準とする取付高は、天井高さが2.500mmから3.000mmの場合に適用する。 天井高さが3.000mm以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督員と協議する。 壁付呼出ボタン(多機能トイ)の取付高さ(400)は床に転倒した時を考慮した高さを示す。 二重床内に配線するEM-UTケーブルは、用途に応じ色分けすること。 二重床内に設置する器具の位置表示としてマーキングを、直上の天井面に行うこと。また、用途に応じ色分けすること。</p>	名 称	取 点	取付高[m]	フック等 (一般)	床上一中心	2.100	# (調機)	#	2.600	# (備上)	備上→中心	150	スイッチ (一般)	床上一中心	1.200	# (多機能使用)	#	1.200	ソケット (電話用)	#	400	# (和室)	#	150	# (和室)	倉上→中心	150	ソケット (土間)	床上一中心	800~1.200	引込開閉器 (定圧)	床上一上端	1.500	分電盤 (制御盤、実験盤)	床上一中心	1.500(上段) 900(下)	開閉器	#	1.500	電磁開閉器用押しボタン	床上一中心	1.200	操作用端子箱	地上→床上一中心	500	試験用接続端子箱	床上一上端	800	接地線接続器	地上→中心	600	給湯ボックス	地上→給湯口	1.000	室内端子箱 (扉下・室内)	床上一上端	300	中間継子箱 (PS・電気室)	床上一中心	1.500	壁付電話機	#	1.200	時計計	#	1.500(上段) 900(下)	子時計、スピーカ	天井下→上端	100	アタッチータ	床上一中心	1.200	表示盤	天井下→上端	100	発信器 (出退室用)	床上一中心	1.200	外部受信用インターホン (子機)	#	標準品による	壁付インターホン (上記以外)	#	1.100	呼出ボタン (多機能使用)	#	900(400)	電燈ボタン (#)	#	1.300	床下表示灯 (#)	#	2.000	テレビ機用取付部	天井下→上端	200	火報受信機 (備倉庫)	床上一上端	800~1.500	別室受信機	床上一中心	1.500	自動通報機受信器	#	800~1.500	発信機	#	800~1.500	警報ベル	#	(天井高) × 0.9	表示灯	#	"(天井高) × 0.8	遠動制御器 (自動開閉)	#	1.500	ガス漏れ検知器 (ガス)	#	300	# (種ガス)	天井→中心	(天井高) - 200	<p>① 衛生器具付排水栓 ② 洗面器 ③ 衛生器具ユニット ④ 浴室・シャワールームユニット ⑤ 和風大便器耐火カバー</p> <p>① 給水方式 ・ 上水 (・ 水道直結 ・ 高置水箱 ・ 圧力水槽 ・ 加圧給水) ・ 井水 (・ 高置水箱 ・ 圧力水槽 ・ 加圧給水)</p> <p>② 配管材料 給水引込管は水道事業者の指定によるものとし、材質は (・ 図示 ・) とする。 屋内配管 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PS) ・ 塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) 地中埋設配管 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PS) ・ 塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) ・ 耐腐蝕性硬質塩化ビニル管 (HIVP)</p> <p>③ 量水器 給水管の最小口径は20mmとする。 井水用の吊りバンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。</p> <p>④ 量水器類 ・ メーター (・ 貨物品 ・) ・ メーター (・ 買取り ・) ・ 水道業者指定品 (・ 貨物品 ・ 買取り) ・ 標準品M/C型 ・ 逆止弁の衝撃吸収又はライニング不要とする。 ・ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 図面に記載のない場合は耐圧は下記による。 水道直結部分 JIS又はJV (・ SK ・ 10K) その他の部分 JIS又はJV (・ SK ・ 10K)</p> <p>⑤ 弁 ⑥ 弁 類 ⑦ 絶縁継手 ⑧ 水栓 ⑨ 水栓柱 ⑩ 引込納付金等</p> <p>① 排水方式 汚水放流先 (・ 公共下水 ・ 浄化槽 ・) 雑排水放流先 (・ 公共下水 ・ 合併処理浄化槽 ・ 側溝等) 化学排水 ()</p> <p>② 配管材料 雑排水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (DVLV) ・ 硬質塩化ビニル管 (VP) ・ 耐火二層管 (VP)</p> <p>汚水 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (DVLV) ・ 硬質塩化ビニル管 (VP) ・ 耐火二層管 (VP)</p> <p>通気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白) ・ 硬質塩化ビニル管 (VP) ・ 耐火二層管 (VP) 屋外排水 ・ 硬質塩化ビニル管 (VU) ・ 硬質塩化ビニル管 (VP) ・ 透心力鉄筋コンクリート管 (R型)</p> <p>③ 洗面器等の排水管 ・ 洗面器及び洗面部に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 ・ 流し台等の床上面露出部の配管は、蛇腹管の使用は禁止とする。</p> <p>④ 漏水試験継手 ⑤ 放流納付金等</p> <p>① 配管材料 ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 (呼び径605u以下は協管式) ・ 鋼管 (硬質(M))</p> <p>② 絶縁継手 取り付ける (鋼製ボイラー、熱交換器などに異種金属管を接続する場合) 図面に記載のない場合は耐圧は、JIS又はJV 5Kとする。</p> <p>③ 弁 類 ・ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。</p> <p>④ ガス 通 湯 器 使用するガス (・ 都市ガス ・ 液化石油ガス)</p> <p>⑤ ガス湯沸器の接続 給湯管及び給水管の接続は、ステンレス製フレキシブルチューブを使用しよ。 湯沸器の給排水管 (二重管) の端への箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編3. 1. 5表2. 3. 5のh-(イ)・Xとする。</p> <p>① 消火設備の種類 ・ 屋内消火栓 ・ 連絡送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 不活性ガス消火 ・ 泡消火 ・ 粉末消火 ・ 連絡取水 ・ フード等用簡易自動消火</p> <p>② 配管材料 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG 370 白管 Sch80) (不活性ガス消火) ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) (地中配管用)</p> <p>③ 保 温 原則として保温は行わない。ただし、屋外露出配管 (弁類含む) は防凍保温を行うものとし、仕様は給水管の項による。</p> <p>④ 地中埋設等 1 地中埋設機 ・ 要 (図示による) ・ 不要 2 埋設表示テープ ・ 要 ・ 不要</p> <p>① 機 械 室 ・ ABC粉末消火器 号 本 ・ 消火器収納箱 本入 個 (・ 鋼板製 ・ SUS製) ・ 表示板 (・ 鋼板製 ・ SUS製 ・ アルミ製) ・ ABC粉末消火器 号 本 ・ 消火器収納箱 本入 個 (・ 鋼板製 ・ SUS製) ・ 表示板 (・ 鋼板製 ・ SUS製 ・ アルミ製)</p> <p>① シ ス テ ム ② 機器の寸法 ③ 機器機能等</p> <p>① 使用ガス ・ 都市ガス (発熱量: MJ/Mm³) ・ 液化石油ガス</p> <p>② 配管材料 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (PLS) (地中配管用)</p> <p>③ ガス集合装置 ・ ガス用ポリエチレン管 (PE) (地中配管用・ローケティングワイヤー共) ・ 本工事 (本組) ・ 別途工事 ・ 標準図「液化石油ガス容器回り配管要領」による ・ 設計図による ・ 本工事 ・ 貨与</p> <p>④ ガスメーター ⑤ 充てん容量 ⑥ 転倒防止等 ⑦ 地 中 埋 設 機 ⑧ 漏洩検知装置 ⑨ 電気防食 ⑩ 引込負担金</p> <p>① 配管材料 送水管 ・ 敷水管 ・</p> <p>② ノズル・ドレン ③ 弁 類 材質は とし、形式は図示による。 ・ 図示による ・ 図面に特記のない場合は耐圧は、JIS又はJV 5Kとする。</p> <p>① 対象人員及び型式等 ② 消 毒 剤 ③ 試験運転調整</p> <p>図示による。 1ヶ月相当分以上を納入する。 浄化槽使用開始3ヶ月後、1回放流水質の測定結果を報告する。</p>	<p>① 設計温湿度 2 煙 道 (1) 付属物 (2) ばいじん濃度計 3 ダ ク ト 4 風 量 測 定 口 5 チ ャ ン パ ー 6 ダ ン パ ー 7 配 管 材 料 8 弁 類 9 温 度 計 10 圧 力 計 11 瞬間流量計又は瞬間流量計取付用タッピング 12 通風量指示計 13 絶 縁 継 手 14 絶 縁 巻 帯 15 弁類の保護カバー</p> <table border="1" data-bbox="1676 178 2151 283"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">室 内</th> </tr> <tr> <th>温度(°C)</th> <th>湿度(%)</th> <th>温度(°C)</th> <th>湿度(%)</th> <th>温度(°C)</th> <th>湿度(%)</th> </tr> <tr> <th>夏季</th> <th>冬季</th> <th>夏季</th> <th>冬季</th> <th>夏季</th> <th>冬季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>25.1℃</td> <td>60.4%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-1.4℃</td> <td>78.1%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>伸縮継手、掃除口の取付位置は図示による。 ばいじん濃度計は (・ 設ける ・) ・ 設けない) ばいじん測定口は口径φ90mmとし、取付位置は煙道の直結部分とする。</p> <p>・ 低圧ダクト (・ フラグ4750g/工法 ・ ヨナギ計工法 (・ 共振750g ・ 2541'わ750g)) ・ 高圧1ダクト (適用範囲は図示による) ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ・ 取付位置は図示による。 ・ 次の位置に取り付ける。(・ 外気ダクト ・ 送気ダクト ・ 空調機の吐出、吸込ダクト ・ 分岐ダクト) 1 内貼を施すチャンパの表示寸法は外寸法を示す。 2 空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消費内貼りしたチャンパーには、点検口を設ける。点検口の大きさは図示による。 3 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーには排水管(呼び径20)を取付け、屋外又は階下排水口に向く。</p> <p>1 防護ダンパー 復帰方式 (・ 通風 ・) ・ 感知知照、遠動制御器及び配管配線は (・ 別途 ・ 本工事) とする。 2 ピストンダンパー 復帰方式 (・ 通風 ・)</p> <p>冷温水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白) 冷却水管 ・ SGP-VA ・ SGP-PA ・ SGP-白 油 管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-風 屋内配管) ・ 合成樹脂外面被覆配管用炭素鋼鋼管 (PLP 地中埋設) 高気圧管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-高) 高気圧管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370 風管 Sch40) ・ ステンレス鋼管 (SUS304) 脚 踏 管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白) 冷 媒 管 ・ 断熱材被覆鋼管 ・ 鋼管 高気圧管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-高) 耐火二層管 ・ 耐火二層管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白) ・ 図示による ・ 図面に特記なき場合の耐圧は、JIS又はJV 5Kとする。 ・ 鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ・ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 次の位置に取り付ける。なお、温度計は内形指示計とする。 ・ 冷凍機の冷水管 (送り、返り) 及び冷却水管 (送り、返り) ・ 吸収冷水機の水温水管 (送り、返り) 及び冷却水管 (送り、返り) ・ ボイラーの温水管 (送り) ・ 空気調和機の冷水管 (送り、返り) 及び三方弁設置後の冷水管 (送り) ・ 熱交換器の温水管 (送り、返り) ・ 冷水水ヘッダー (往)冷水水ヘッダーの各返り管 ・ 空気調和機 (パッケージ型を含む) のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取り入れダクト及びレタンチャンパー 次の位置に取り付ける。 ・ 冷凍機の冷水管 (送り、返り) 及び冷却水管 (送り、返り) ・ 空気調和機の冷水管 (送り、返り) ・ 吸収冷水機の水温水管 (送り、返り) 及び冷却水管 (送り、返り) ・ 熱交換器の温水管 (送り、返り) 次の管に取り付ける。なお、瞬間流量計はビード管方式によるもので止水コック付とする。 ・ 冷凍機の冷水管及び冷却水管 (送り又は返り) に (・ 流量計 ・ タッピング) を設ける。 ・ 吸収冷水機の水温水管 (送り又は返り) に (・ 流量計 ・ タッピング) を設ける。 ・ 空気調和機の冷水管 (送り又は返り) に (・ 流量計 ・ タッピング) を設ける。 ・ 冷水水ヘッダーの (・ 各返り管 ・ 各返り管) に (・ 流量計 ・ タッピング) を設ける。</p> <p>図示の位置に取り付ける。 図示の位置に取り付ける。 1 材料・施工順序及び厚さは特記がなければ標準仕様書第2編第3章の表2. 3. 1~2. 3. 7による。なお、保温材は原則としてグラスウール保温材を使用するものとし、温水・高気・給湯以外の暗渠内 (ピット内を含む) 及び屋外多湿箇所はポリスチレンフォーム保温材を使用するものとする。また、排煙ダクト及び煙道はロックウール保温材を使用するものとする。 2 合成樹脂製カバーは、(・ シートタイプ ・ ジャケットタイプ) を使用するものとする。 3 井水管の保温種別については冷水管の保温種別によるものとする。 4 標準仕様書第2編3. 1. 4)によるほか、下記による。 ・ 外気取入ダクトの保温要 (・ 全て ・) ・ 排煙ダクトの保温要 (・ 外壁から1m ・) ・ 返りダクトの保温要 ・ 暗渠ダクトのフランジ部 (補強を含む) は厚さ25mmの保温を兼ね巻きを行うか、保温厚さをフランジ高さ+10mm以上とする。 ・ チャンパー及びダクトの消費内貼り (図示箇所) を施した部分は外部の保温を不要とする。 ・ 暖房する室 (室内含む) の高気圧管及び分岐管は保温を施す。 ・ 建物内の空気抜きまでの配管の保温は、(2. 3. 1. 4) の温水管の項による。 ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、(2. 3. 1. 5) の排水管の項による。 ・ 露出部の冷媒管の外装は (・ 図示 ・ 保温化粧ケース ・ SUSラッキング) とする。 屋外に保温化粧ケースを使用する場合は、ケース内に水が侵入しないよう必要に応じてシールする。 SUSラッキング内部はポリスチレンフォーム保温種で保護する。 温水、高気、冷水、冷水用水の配管で呼び径65以上の弁、ストレーナ等は、ビス等により容易に差脱できる金属製のカバーによる外装を施す。なお、屋内用は (・ カラー亜鉛鉄板 ・)、屋外及び多湿箇所は (・ ステンレス鋼板 ・) とする。</p>		外 気		室 内				温度(°C)	湿度(%)	温度(°C)	湿度(%)	温度(°C)	湿度(%)	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	25.1℃	60.4%	℃	%	℃	%	冬季	-1.4℃	78.1%	℃	%	℃	%	<p>① ダ ク ト ② 風 量 測 定 口 ③ ダ ン パ ー ④ シールする排気ダクトの系統 ⑤ チャンパー ⑥ 保 温</p> <p>7 24 時 間 換 気</p> <p>・ 低圧ダクト (・ フラグ4750g/工法 ・ ヨナギ計工法 (・ 共振750g ・ 2541'わ750g)) ・ 厨務系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3. 2. 2) のダクトの板厚の項より1番手厚いものを使用する。 図示した位置に取り付ける。 3 ダンパー ・ 厨務系統 ・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統 空気調和設備の当該項目による。 次のダクトは保温を行う。 ・ 外気ダクト (図示なき場合は全て、全熱交換ユニットの二次側含む。) ・ 多湿箇所ダクト (範囲は図示による。) ・ 排気ダクトの保温要 (範囲は (・ 外壁から1m ・ 図示による。)) 各居室において、換気量を測定し、必要換気回数以上であることを確認し、監督職員に報告すること。</p> <p>① ダ ク ト ② 排煙口の形式 ③ 排煙口開放及び復帰方式 ④ 排煙風量測定</p> <p>① システム構成その他 ② 電気計装用器材</p> <p>1 使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表4. 1. 11)による。(機器、整類を除く。) 2 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 3 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。</p> <p>① 機 械 室 ・ ABC粉末消火器 号 本 ・ 消火器収納箱 本入 個 (・ 鋼板製 ・ SUS製) ・ 表示板 (・ 鋼板製 ・ SUS製 ・ アルミ製) ・ ABC粉末消火器 号 本 ・ 消火器収納箱 本入 個 (・ 鋼板製 ・ SUS製) ・ 表示板 (・ 鋼板製 ・ SUS製 ・ アルミ製)</p> <p>② 貯油槽施設</p>
名 称	取 点	取付高[m]																																																																																																																																																													
フック等 (一般)	床上一中心	2.100																																																																																																																																																													
# (調機)	#	2.600																																																																																																																																																													
# (備上)	備上→中心	150																																																																																																																																																													
スイッチ (一般)	床上一中心	1.200																																																																																																																																																													
# (多機能使用)	#	1.200																																																																																																																																																													
ソケット (電話用)	#	400																																																																																																																																																													
# (和室)	#	150																																																																																																																																																													
# (和室)	倉上→中心	150																																																																																																																																																													
ソケット (土間)	床上一中心	800~1.200																																																																																																																																																													
引込開閉器 (定圧)	床上一上端	1.500																																																																																																																																																													
分電盤 (制御盤、実験盤)	床上一中心	1.500(上段) 900(下)																																																																																																																																																													
開閉器	#	1.500																																																																																																																																																													
電磁開閉器用押しボタン	床上一中心	1.200																																																																																																																																																													
操作用端子箱	地上→床上一中心	500																																																																																																																																																													
試験用接続端子箱	床上一上端	800																																																																																																																																																													
接地線接続器	地上→中心	600																																																																																																																																																													
給湯ボックス	地上→給湯口	1.000																																																																																																																																																													
室内端子箱 (扉下・室内)	床上一上端	300																																																																																																																																																													
中間継子箱 (PS・電気室)	床上一中心	1.500																																																																																																																																																													
壁付電話機	#	1.200																																																																																																																																																													
時計計	#	1.500(上段) 900(下)																																																																																																																																																													
子時計、スピーカ	天井下→上端	100																																																																																																																																																													
アタッチータ	床上一中心	1.200																																																																																																																																																													
表示盤	天井下→上端	100																																																																																																																																																													
発信器 (出退室用)	床上一中心	1.200																																																																																																																																																													
外部受信用インターホン (子機)	#	標準品による																																																																																																																																																													
壁付インターホン (上記以外)	#	1.100																																																																																																																																																													
呼出ボタン (多機能使用)	#	900(400)																																																																																																																																																													
電燈ボタン (#)	#	1.300																																																																																																																																																													
床下表示灯 (#)	#	2.000																																																																																																																																																													
テレビ機用取付部	天井下→上端	200																																																																																																																																																													
火報受信機 (備倉庫)	床上一上端	800~1.500																																																																																																																																																													
別室受信機	床上一中心	1.500																																																																																																																																																													
自動通報機受信器	#	800~1.500																																																																																																																																																													
発信機	#	800~1.500																																																																																																																																																													
警報ベル	#	(天井高) × 0.9																																																																																																																																																													
表示灯	#	"(天井高) × 0.8																																																																																																																																																													
遠動制御器 (自動開閉)	#	1.500																																																																																																																																																													
ガス漏れ検知器 (ガス)	#	300																																																																																																																																																													
# (種ガス)	天井→中心	(天井高) - 200																																																																																																																																																													
	外 気		室 内																																																																																																																																																												
	温度(°C)	湿度(%)	温度(°C)	湿度(%)	温度(°C)	湿度(%)																																																																																																																																																									
	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季																																																																																																																																																									
夏季	25.1℃	60.4%	℃	%	℃	%																																																																																																																																																									
冬季	-1.4℃	78.1%	℃	%	℃	%																																																																																																																																																									
<p>15 電 線 類 16 二重床内器具</p>	<p>① ガ ス 設 備 ② 融 雪 設 備 ③ 浄 化 槽 設 備</p>	<p>① 空調調和機設備 ② 空気調和機設備 ③ 換気設備 ④ 換気ダクト設備 ⑤ 排煙設備 ⑥ 排煙ダクト設備</p>	<p>① 換気設備 ② 排煙設備 ③ 自動制御設備 ④ 消火器設備 ⑤ 浄化槽設備</p>																																																																																																																																																												

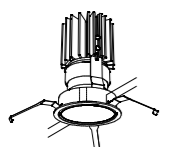
凡例	記号	名称	規格・仕様	備考
電灯分電盤	EM-FCPEE0.65-3P (E19)	盤結線参照		既設
照明器具	○	ダウンライト		既設
照明器具	○	ダウンライト		既設
照明器具	○	ブラケットライト 壁付		
照明器具	○	ライン照明		
ライン照明電源ユニット	WP	入力AC100V、出力DC24V		
リモコンスイッチ	WP	多重伝送2線式、防滴プレート共		
防水コンセント	WP	2P15A×1、接地極、接地端子付		
防水コンセント	WP	2P20A×1、接地極付引掛けAC250V		
端子盤	WP			既設
監視カメラ	WP	屋外型 壁付		既設
子時計	WP	屋外型 壁付		既設
ドアホン観機	WP	カラーモニター付		
ドアホン子機	WP	カメラ付		
スピーカー	WP	屋外ホーン型、15W		
モジュラープレート	WP	6極6芯モジュラー、金属プレート		
ローゼット	WP	6極6芯露出モジュラー		既設総合監視盤内に設置
信号増幅器	WP	AC100V		既設総合監視盤内に設置
電動カーテンスイッチ	WP			建築工事
プルボックス	WP	屋内銅板製		サイズは傍記による
プルボックス	SUS	屋外SUS製		サイズは傍記による
天井内隠ぺい配線				
露出配管配線				
壁貫通補修		機械はつり ※事前に鉄筋探査を行う事		サイズは傍記による
防火区画貫通処理材	E	PS060 WL-0269 同等品 機械はつり共		サイズは傍記による

注記)
 1. 図中、..... 細線かつ点線は既設を表す。
 2. 図中、【再】印は既設器具の取外し再取付けを表す。
 3. 図中、No は100Vコンセント回路 No は200Vコンセント回路を表す。
 4. 図中、R はリモコンリレー番号を表す。

特記なき配線は、下記による

EM-EFF1.6-3C	天井こしがし配線
2F3	EM-EFF2.0-3C 天井こしがし配線 立下り保護管E25
2F3x2	EM-EFF2.0-3Cx2 天井こしがし配線 立下り保護管E25x2
2F3.PF	EM-EFF2.0-3C 外壁内隠蔽配管配線 保護管PF22
2FA	EM-EFF2.0-3C 露出配管配線 保護管E25
AE	EM-AE1.2-2C 天井こしがし配線
AE.PF	EM-AE1.2-2C 外壁内隠蔽配管配線 保護管PF16
AE	EM-AE1.2-2C 露出配管配線 保護管E19
G	EM-FCPEE0.9-1P 天井こしがし配線 保護管PF16
FCPEE_3P	EM-FCPEE0.65-3P 天井こしがし配線
FCPEE_3P	EM-FCPEE0.65-3P 露出配管配線 保護管E19

SP-1



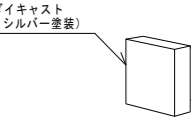
電源ユニット100/200V (非調光) 共

形式	LEDダウンライト
光源	14.33lm 消費電力19.8W
	電球色(3000K)、Ra83
本体	トリム:アルミダイキャスト(白色塗装) コーン:アルミ(銀色鏡面仕上げ)
その他	配光:ワイド44°、グレアカット:55° 防雨・軒下対応

屋外階段		
SP-2	3	新設

アプローチ		
SP-1	28	新設
SP-4	12	新設
ダウンライト	14	取外し再取付け

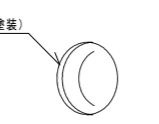
SP-2



アルミダイキャスト (ダークシルバークロム塗装)

形式	LEDブラケットライト
光源	15.0lm 消費電力3.9W
	電球色(3000K)、Ra80
本体	アルミダイキャスト(ダークシルバークロム塗装) アクリル(クリア片面マット)
その他	電源電圧 100~240V 防雨型

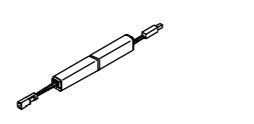
SP-3



アルミ (ダークシルバークロム塗装)

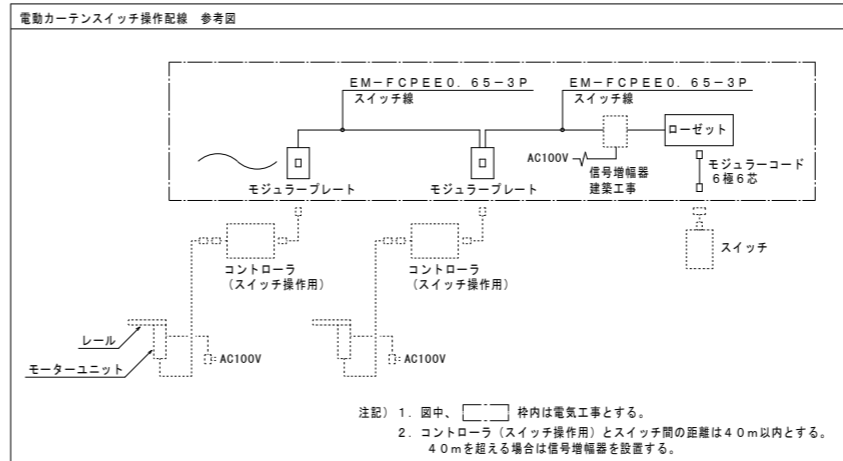
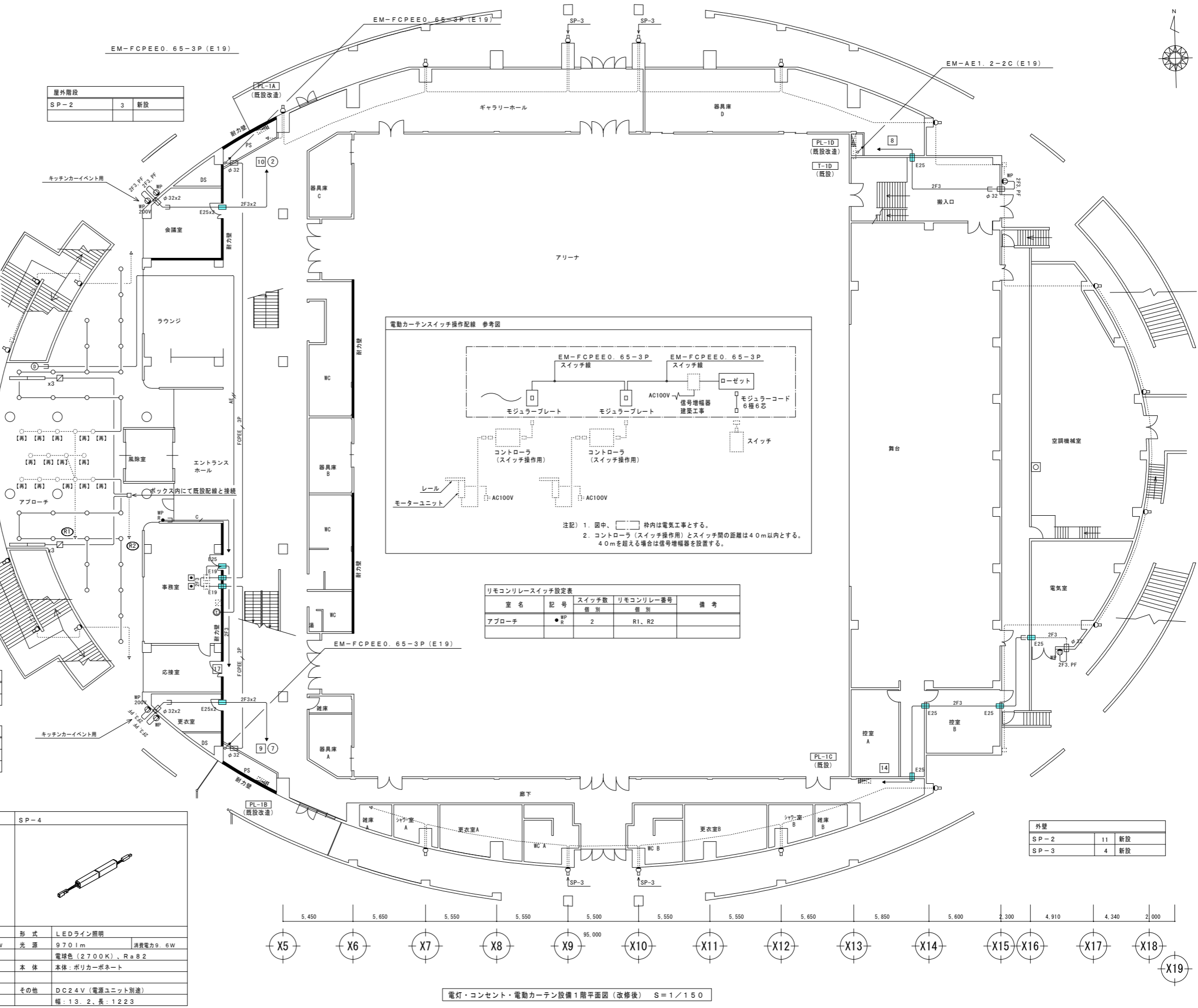
形式	LEDブラケットライト
光源	20.2lm 消費電力6.0W
	電球色(3000K)、Ra80
本体	アルミ(ダークシルバークロム塗装) アクリル(クリア一部消し)
その他	電源電圧 100V専用 防雨型

SP-4



LEDライン照明

形式	LEDライン照明
光源	9.70lm 消費電力9.6W
	電球色(2700K)、Ra82
本体	本体:ポリカーボネート
その他	DC24V(電源ユニット別途) 幅:13.2、長:122.3

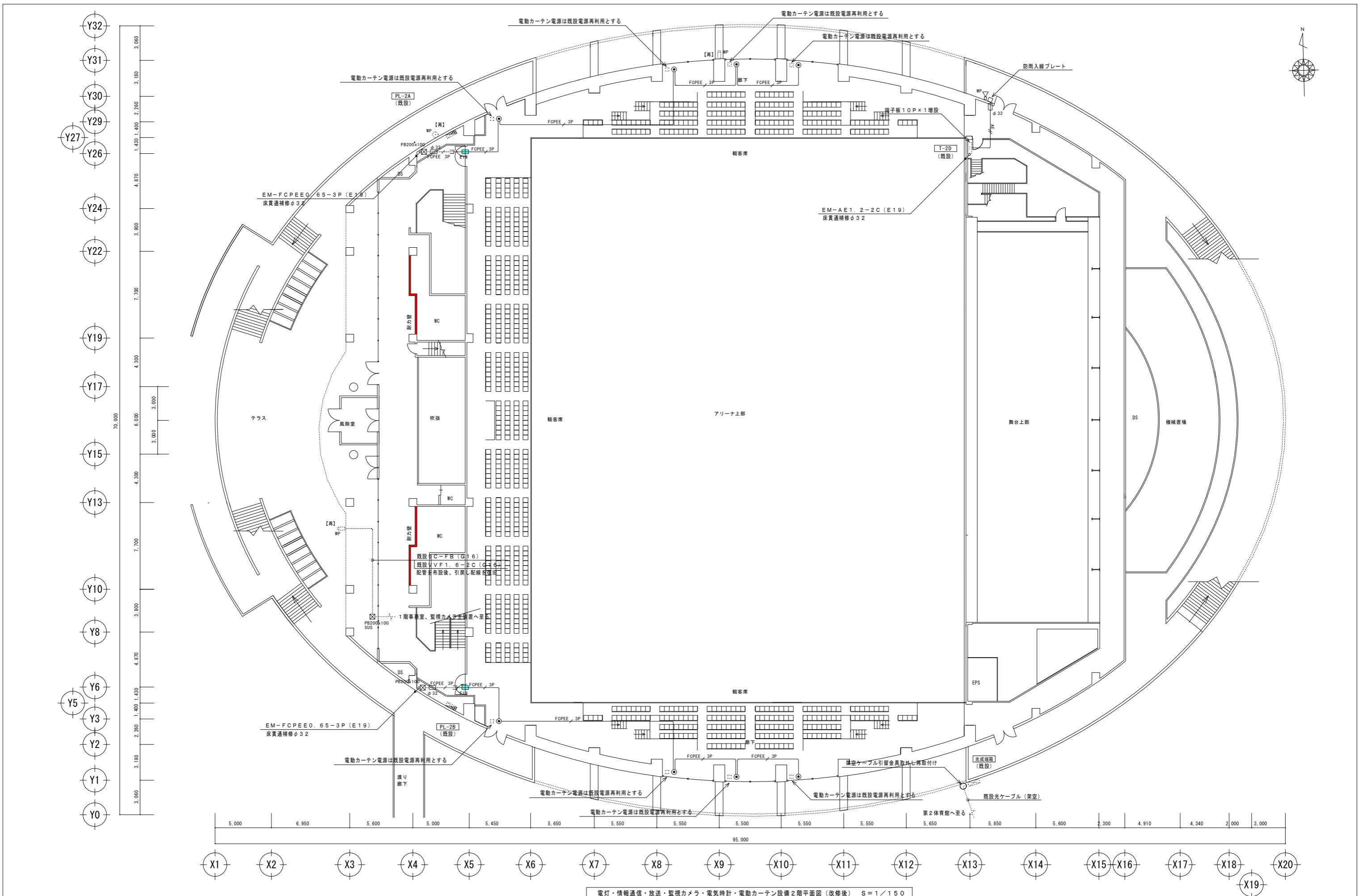


リモコンリレースイッチ設定表

室名	記号	スイッチ数	リモコンリレー番号	備考
アプローチ	WP R	2	R1, R2	

外壁		
SP-2	11	新設
SP-3	4	新設

電灯・コンセント・電動カーテン設備1階平面図(改修後) S=1/150



電灯・情報通信・放送・監視カメラ・電気時計・電動カーテン設備2階平面図(改修後) S=1/150

凡例	記号	名称	規格・仕様	備考
■	電灯分電盤	盤結線図参照		
○	照明器具	ダウンライト		
□	照明器具	ブラケットライト 壁付		
▷	照明器具	スポットライト 壁付		
□	照明器具	フットライト 壁付		
□	端子盤			
□	監視カメラ	屋外型 壁付		
⌚	子時計	屋外型 壁付		
////	UHF、FMアンテナ	アンテナマスト5.0A		
⊕	BSアンテナ	アンテナマスト4.0A		
Ⓜ	ドアホン観機	モニター付き		
Ⓜ	ドアホン子機	カメラ付き		
□	プルボックス		サイズは併記による	
—	天井内隠ぺい配線			
---	露出配管配線			

注記)
1. 図中、印は撤去を表す。但し、撤去が困難な物は残置とする。

特記なき配線は、下記による

— I V 1. 6 x 2 天井隠蔽配管配線 保護管 19

— AE 〃 A E 0. 9 - 2 C 天井内こがし配線 保護管 19

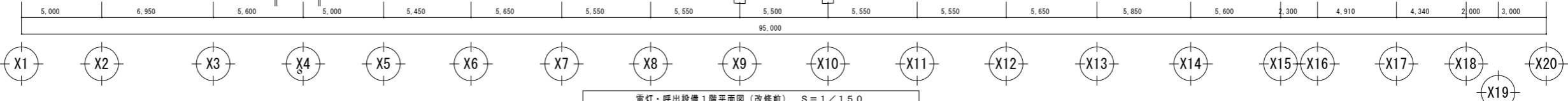
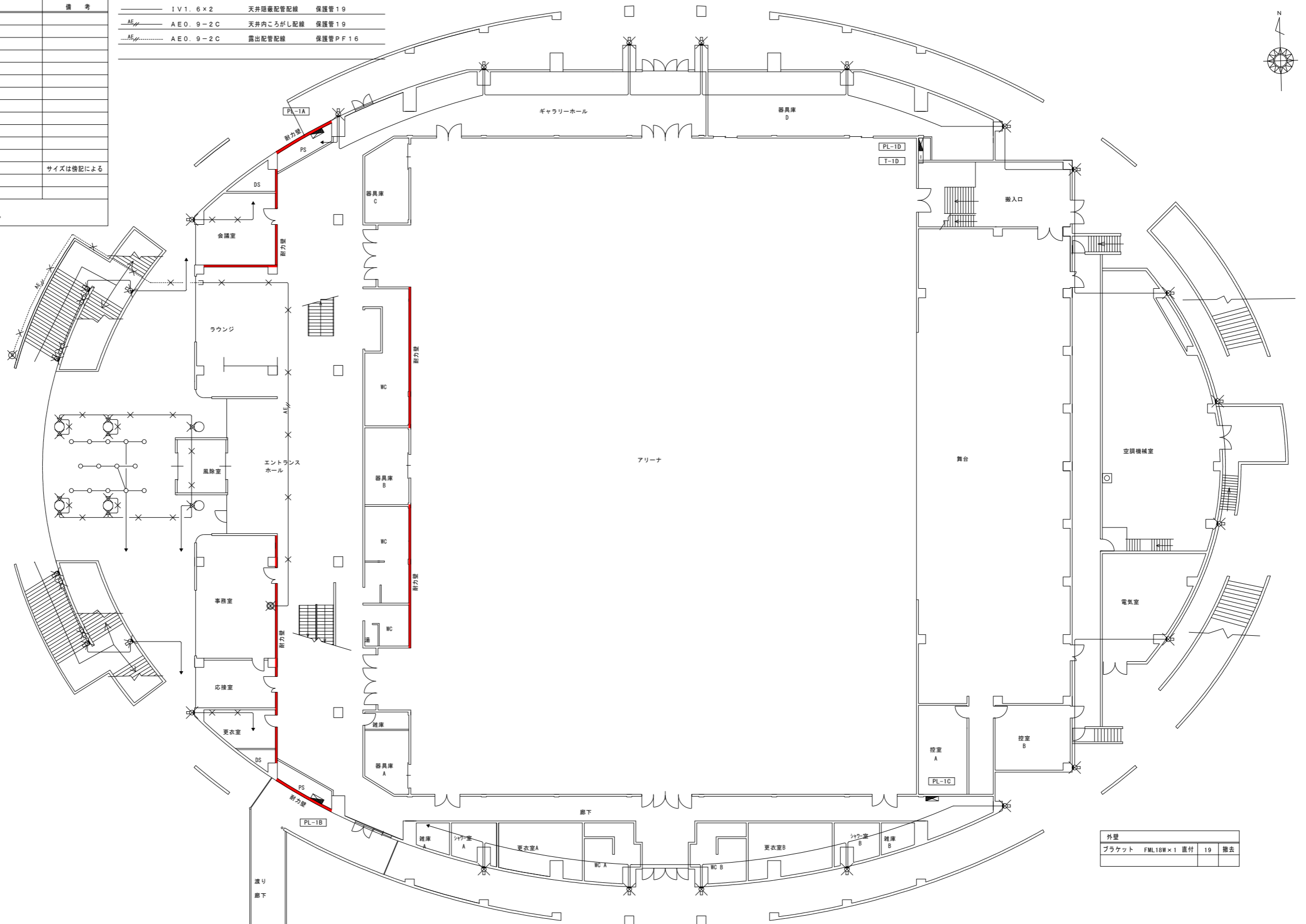
--- AE 〃 A E 0. 9 - 2 C 露出配管配線 保護管 P F 1 6

屋外階段			
フットライト	FPL6W x 1	埋込	2 撤去
ブラケット	FML18W x 1	直付	3 撤去

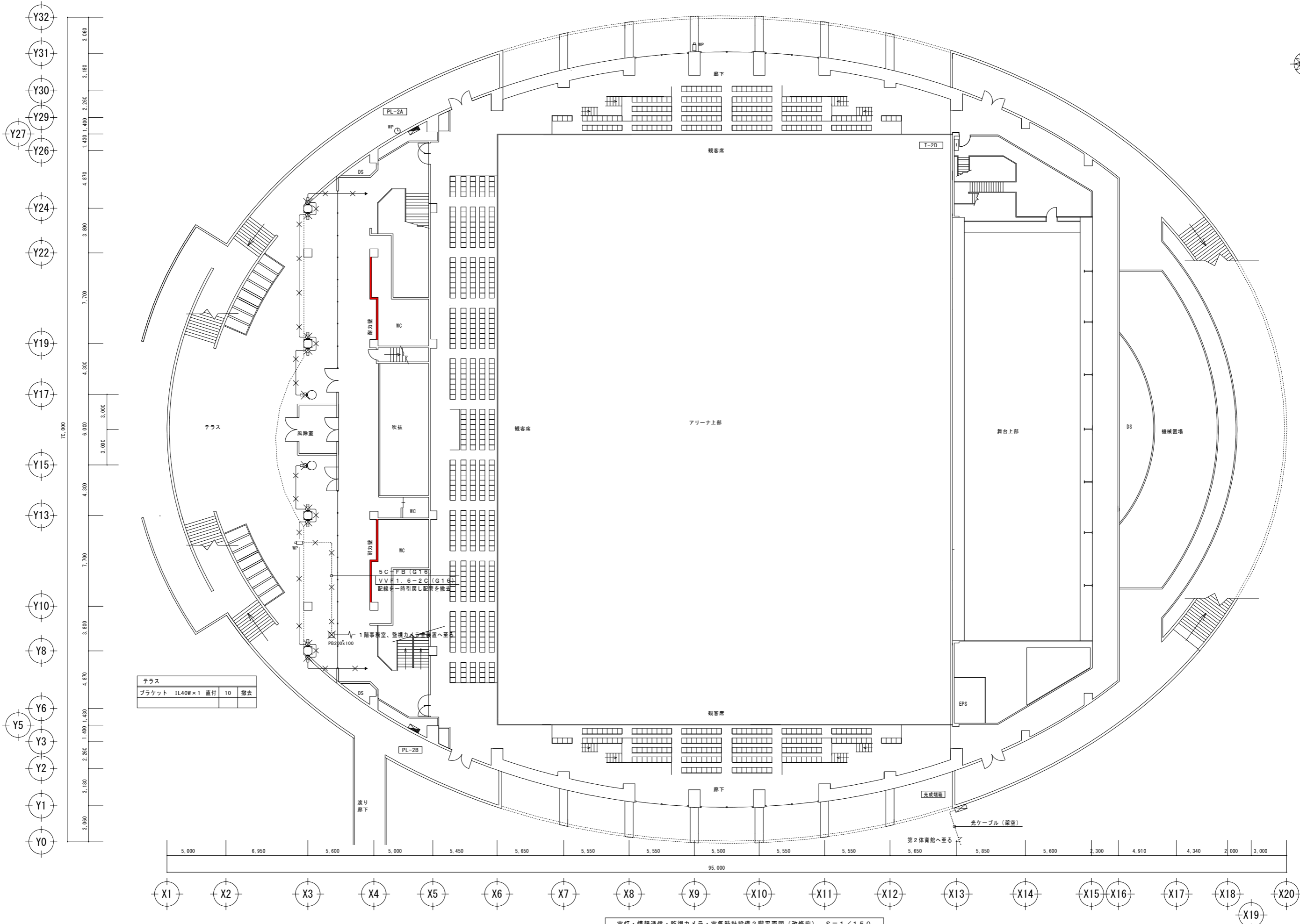
屋外階段			
フットライト	FPL6W x 1	埋込	2 撤去
ブラケット	FML18W x 1	直付	3 撤去

アプローチ			
スポット	FML27W x 1	直付	10 撤去

外壁			
ブラケット	FML18W x 1	直付	19 撤去

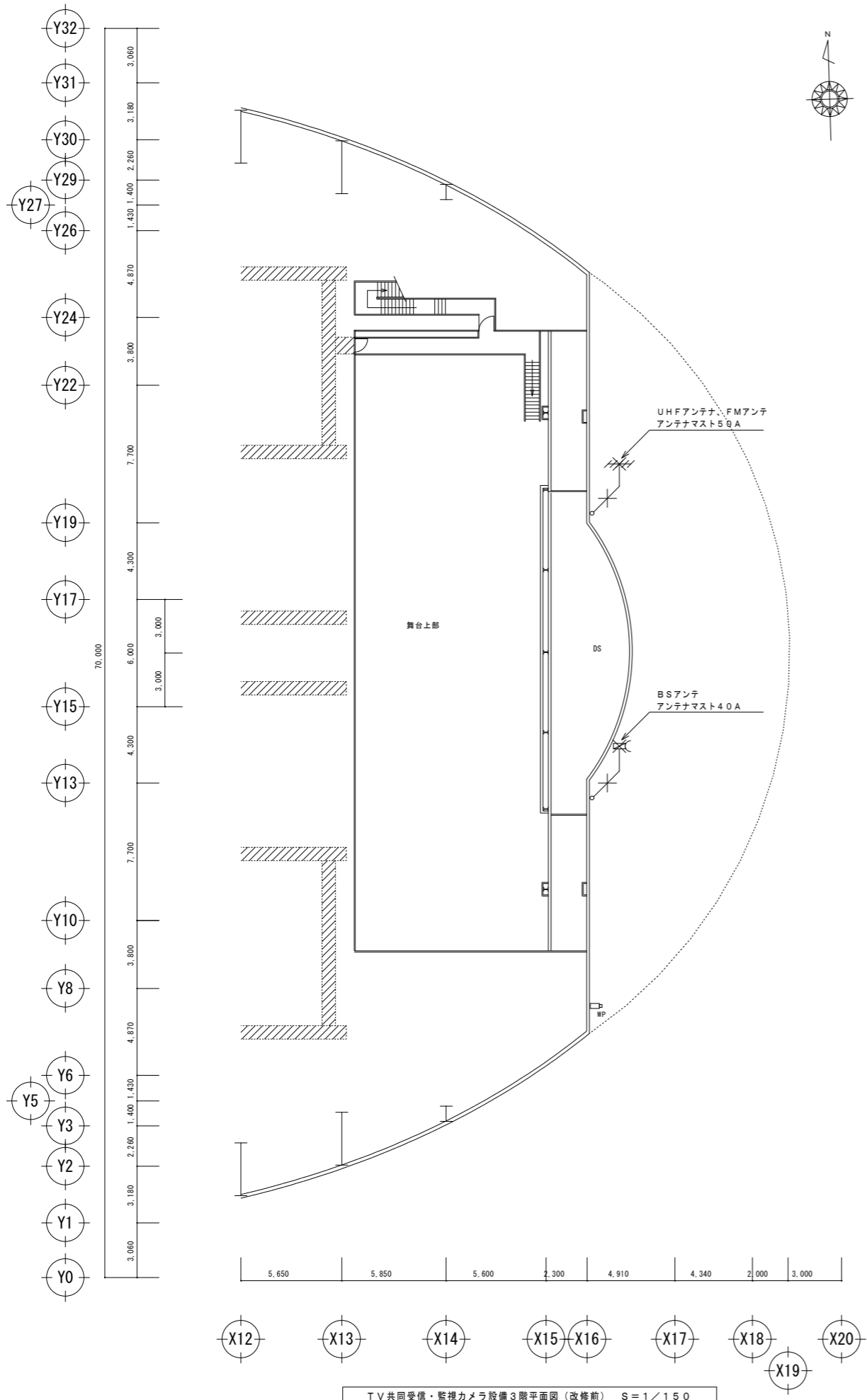


電灯・呼出設備1階平面図(改修前) S=1/150

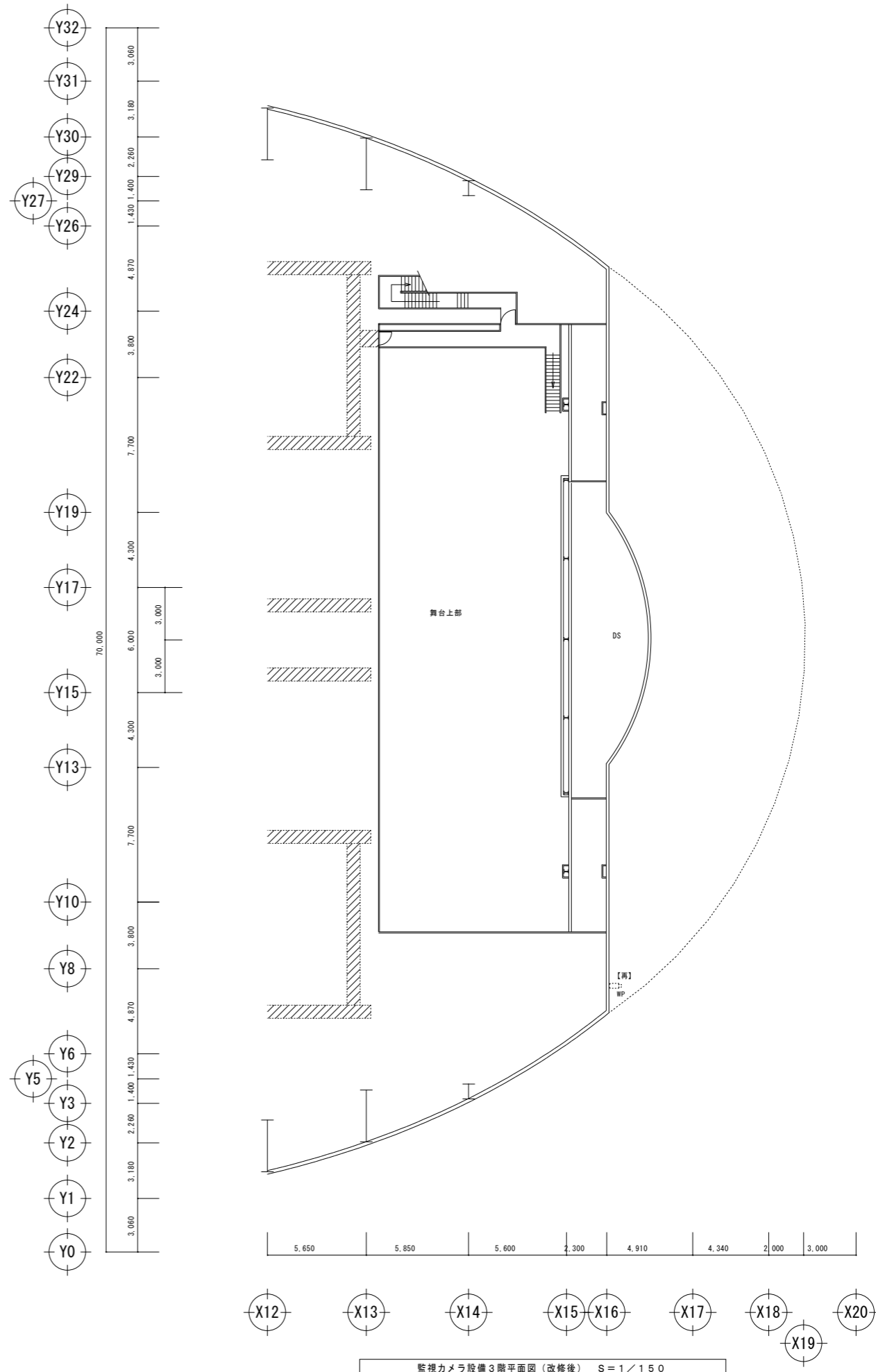


テラス			
ブラケット	1L40W×1	直付	10 撤去

電灯・情報通信・監視カメラ・電気時計設備2階平面図(改修前) S=1/150



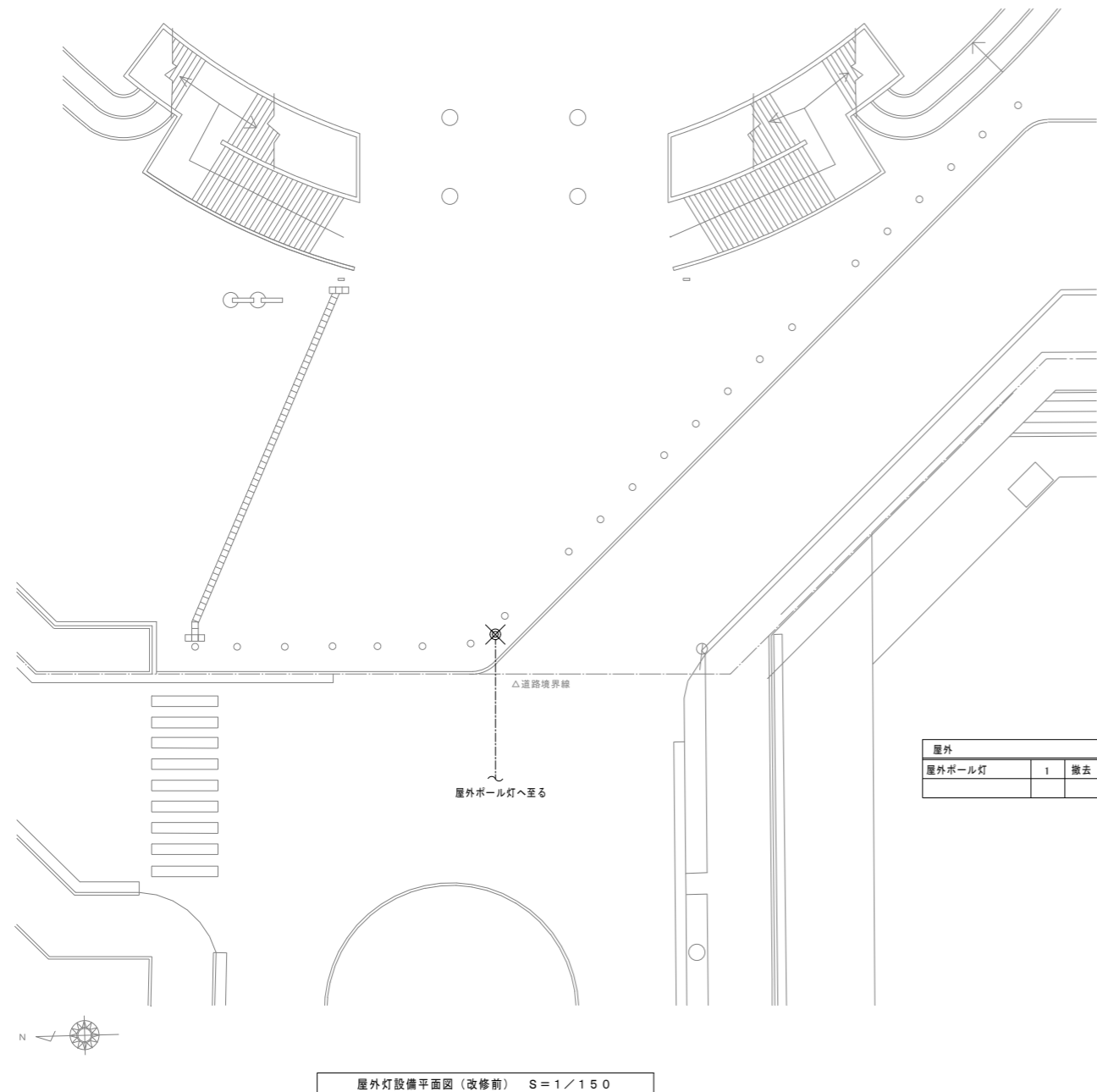
T V 共同受信・監視カメラ設備3階平面図（改修前） S=1/150



監視カメラ設備3階平面図（改修後） S=1/150

凡例	記号	名称	規格・仕様	備考
⊕	照明器具	屋外ポール灯		
---	地中埋設配管配線			

注記)
1. 図中、印は撤去を表す。但し、撤去が困難な物は残置とする。

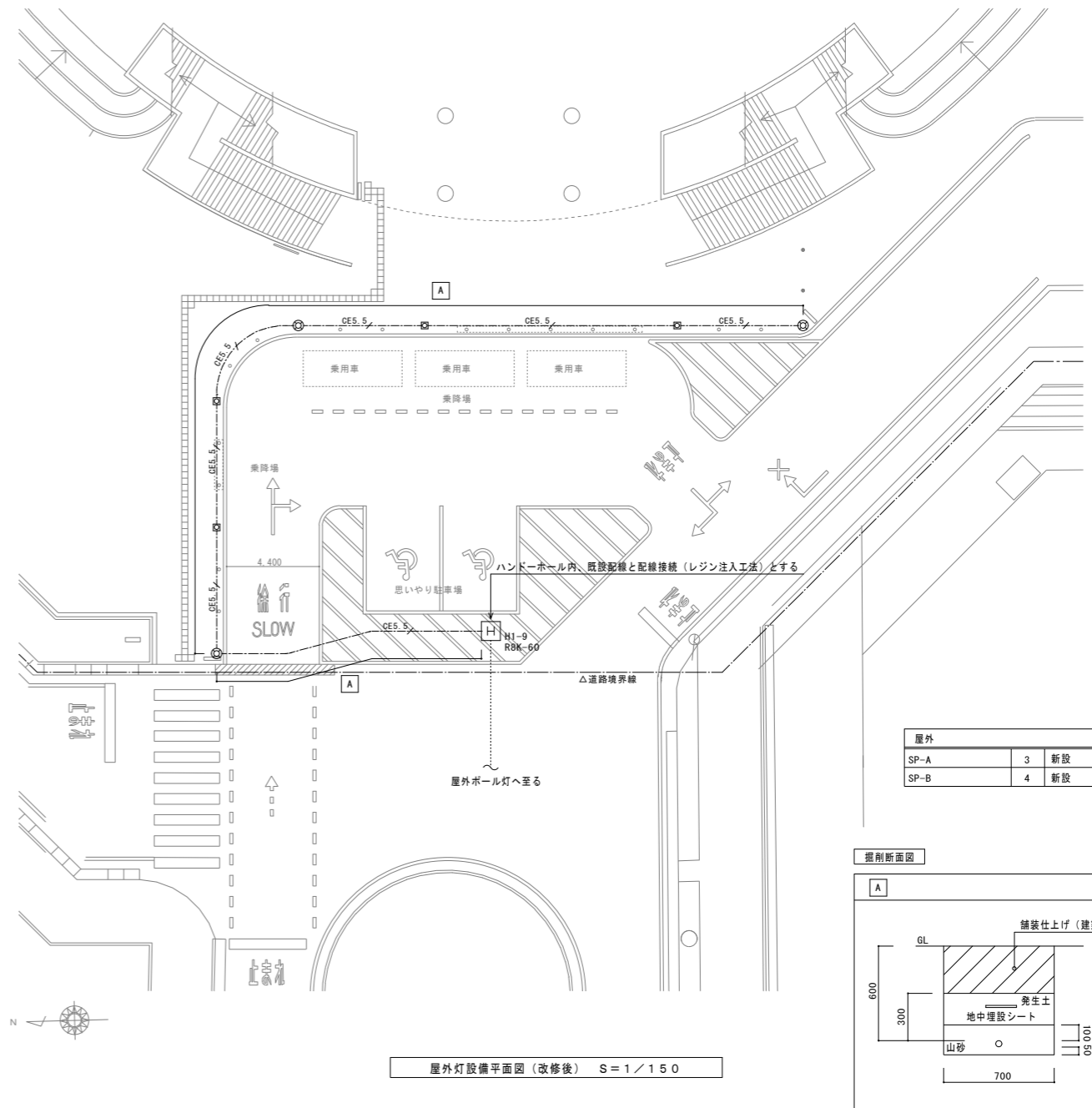


凡例	記号	名称	規格・仕様	備考
⊕	照明器具	屋外ポール灯		
⊗	照明器具	屋外ローポール灯		
H	HI-9 R8K-60	ハンドホール	H1-9、蓋R8K-60	
---	地中埋設配管配線			

注記)
1. 図中、..... 細線かつ点線は既設を表す。

特記なき配線は、下記による
 ...CES.5... EM-CES.5-3C 地中埋設配管配線 保護管FEP30

注記) 3Cの内1Cはアースとする



SP-A		SP-B	
形式	LEDポール灯	形式	LEDローポール灯
光源	5246lm 消費電力64W	光源	760lm 消費電力12.5W
電球色	(3000K)、Ra83	電球色	(3000K)、Ra83
本体	本体:アルミ・ステンレス (黒色塗装) カバー:アクリル (乳白)	本体	本体:ステンレス (#400研磨) ・アルミ (黒色塗装)
その他	防雨型	その他	防雨型
電源電圧	100~240V	電源電圧	100~240V

参考寸法: 幅φ130 (埋込ポール径φ90)・高さ850・埋込深350mm